

指定管理者評価結果票

所 管 課	都市建築部 都市公園課
評価対象期間	H27.4.1 ~ H28.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	花フェスタ記念公園
	所在地	可児市瀬田1584-1
指定管理者	名 称	花フェスタ記念公園運営管理グループ
	構 成 員	イビデングリーンテック株式会社、グリーンワークス株式会社、株式会社日本ライン花木センター
	所在地	大垣市河間町3丁目55番地
	指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> 花フェスタ記念公園の施設・設備の維持管理業務 花フェスタ記念公園の企画運営に関する業務 花フェスタ記念公園の植物管理業務 その他の業務 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H25	311,240
H26	346,713
H27	650,265

3 平成27年度の収支状況

(単位:千円)

収入計	458,282
利用料金	203,128
指定管理料	171,429
その他	83,725
支出計	442,442
人件費	116,207
施設管理費	195,599
その他	130,636
差 引	15,840
納 付 金	260

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・ペットの同伴入園について、県と引き続き協議すること。	・ペット同伴を実施する場合のエリアについて県と協議中。 ・バラに特化した公園であり、ペット同伴に反対意見の方も多いため、他の都市公園での問題事例等の情報収集の上、対応策を検討していく。
・インバウンドに対する取組みとして、茶室の活用のほか、広域観光として八百津町等との連携により、周遊性を高めること。	・ホームページの営業案内を5か国語対応にしたほか、月2回スタッフの英会話研修を実施。 ・春のバラまつりにおいて、杉原千畝パネル展示や関連イベントの会場となった。 ・旅行代理店への営業の際、杉原千畝記念館の資料を持参し、パッケージ商品造成を働き掛けている。
・事業計画に位置付けられた「美味し」という点において、花フェスタ記念公園ならではの取組みに力を入れること。	・園内のメインレストランを県産品を活用した店舗にリニューアルしたほか、フェスタタウンでは飛騨牛商品やピザ専門店をオープンした。 ・近隣の有名和菓子店と協力した商品提供もしている。 ・繁忙期である春のバラまつり期間中には、キッチンカーを配置し、需要に対応した飲食提供を行った。
・園内の獣害対策として、植栽対策のみならず、入園者への被害対策も視野に入れること。	・県による工事で外周フェンスを増設し、被害は減少している。 ・猟友会の協力を得て、捕獲用の檻を設置している。 ・暗視カメラにより監視し、引き続き捕獲に向けて作業を進めている。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.8	・出店者も含めたスタッフの接遇問題等の対策について検討すること。
設置目的の充足状況	4.0	・収支の分岐点になる38万人から40万人の入園者数を達成するため、「花」以外のプラスアルファの仕掛けも検討すること。
公共性の確保の状況	4.2	・苦情も受け止め、より良い公園となるよう引き続き努力すること。
経営状況	4.0	・計画の策定方針、計画変更について、見える形で示すこと。
派生的効果	4.0	・前回評価員会議の意見に対応しており、評価できる。 (特に、杉原千畝と連携した取り組み)

<評価基準>

5	定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・レストランやブースの店舗リニューアルを行い、飲食物販機能の充実に取り組んでいる。 ・海外旅行客受入れのため、多言語表記やスタッフの英会話研修の実施など努力している。 ・県の記念事業「花フェスタ2015ぎふ」と協調し、過去10年で最多の入園者数を達成したことは評価できる。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する